

2009（平成 21）年度前期 DUO リーグ会議

【日 時】2009（平成 21）年 2 月 22 日（日） 17：00～19：00

【場 所】筑波大学附属高校会議室

【出 席】(名前)

都小石川（長山）、昭和一（永井）、三菱養和（生方）、京華(小金丸)、都向丘（阿波）、筑波大附（中塚）、学習院（玉生）、豊南（野口）、本郷（岩野）、城西（大阿久）、豊島学院（北爪）、郁文館（井上）、駒込学園（宮坂）、巣鴨（山中）、立教池袋（永田）、獨協（神宮寺）、都豊島（横田）、淑徳巣鴨（藤沢）、都竹早（富山）、日大豊山（田中）、都文京（梶山）、都足立工（細井）、都足立（安藤）、都江北（玉山）、足立学園（伊藤）、文京区中学生選抜（丸山）、FC 西巣鴨 03（岸）

【オブザーバー：高校生】中山・八田・白松(筑波大)、田島（城西）、中田・松岡・小口（郁文館）、竹内（都豊島）

【オブザーバー：一般】武藤（文中選）、菊池・山本（日大豊山）、宮（FC 西巣鴨 03）、小林（三菱養和）、寺澤（東京リゾート&スポーツ専門学校）、土谷（KOSUGE1 - 16）、佐藤（靴郎堂本店）、藤岡（筑波大附トレーナー）、田村（事務局長）

【議事録作成者】田村、藤岡

0. DUO リーグ・アウォーズ

会議に先立ち、16：20 より、2008 年度後期 DUO リーグ・アウォーズが開かれた。

はじめにチェアマンから、「DUO リーグのあゆみと“トロフィーがない！”プロジェクト」について、パワーポイントを用いた解説が約 10～15 分あり、その後、順に表彰が進められた。進行役は玉生事業部長。

並行して、会場の片隅では、トロフィー制作者である佐藤いちろう氏による、「履けないシューズでできた履けるサンダル」の制作実演が行われ、ちょうどアウォーズが終了したところに 1 対のサンダルが完成し、披露された。詳細は会議の最後に。

I. チェアマンより

0. DUO リーグの入退会について（基礎調査まとめ参照）

◆新規加盟クラブはなし

◆都立足立工業高校は退会

細井：部員数が少なく、試合ができるギリギリの人数です。生徒たちも自分の都合（バイトなど）を優先させ、試合直前で相手校に試合の断りをすることもありました。夏の大会も人数の関係で登録も危うく、新人戦では審判員がいない状況でした。新しい顧問のなり手もおらず、来年度の加盟は見送らせてください。

岩野：昨年度も同じような状況で、加盟だけはするという事だったと思うが。

中塚：部としては「休部」という形になるのですか？

細井：新入生次第ですが、今のままでは活動は難しい。

中塚：1 年間経過した上でこのことでもあるので、退会やむなしという状況ですね。状況が好転したらまた、是非加盟してください。

このほかでは、竹早高校が、加盟はするが前期リーグ参加は難しいとのことでしたが。

富山：顧問の異動があって新しい顧問も決まっておらず、前期リーグ参加は不可能です。部員とも相

談の上、判断しました。

中塚：できれば後期から参加できるように、準備を進めておいてください。

1. DUO リーグの組織（組織図参照）

中塚：事業部門と管理部門に加えて企画部門を立ち上げ、2007～2008の2年間、現在の組織図で動いてもらった。◎のクラブがメインで、それ以外のクラブがサポート役。機能した部署としなかった部署があるが、2年間やってもらったので配置替えをしたい。

新しいところでは、「スキンプロジェクト推進部」を企画部門の中に設けた。これについては後述。

DUO リーグ選抜の活動が本年度も停滞ぎみで残念。技術部はもっと計画的に進めてもらいたい。

井上：スタッフが欲しいです。正直一人ではキツイ。

中塚：本年度までは都豊島がメインで郁文館がサブだったはず。これは1年生の地区選抜スタッフのことやグラウンドのことを考慮して2年前に決めた役割。実質的に井上先生だけでやっているのはおかしい。少なくとも担当になったクラブ同士で連絡を取り合い、責任を持って進めてください。

ここに書かれたもの以外にやりたい業務があれば言ってもらいたい

駒込：地域活動推進部をやりたいです。文京区のことについていろいろ考えていることもあるので。

中塚：広報部と両方はどうですか？（笑）

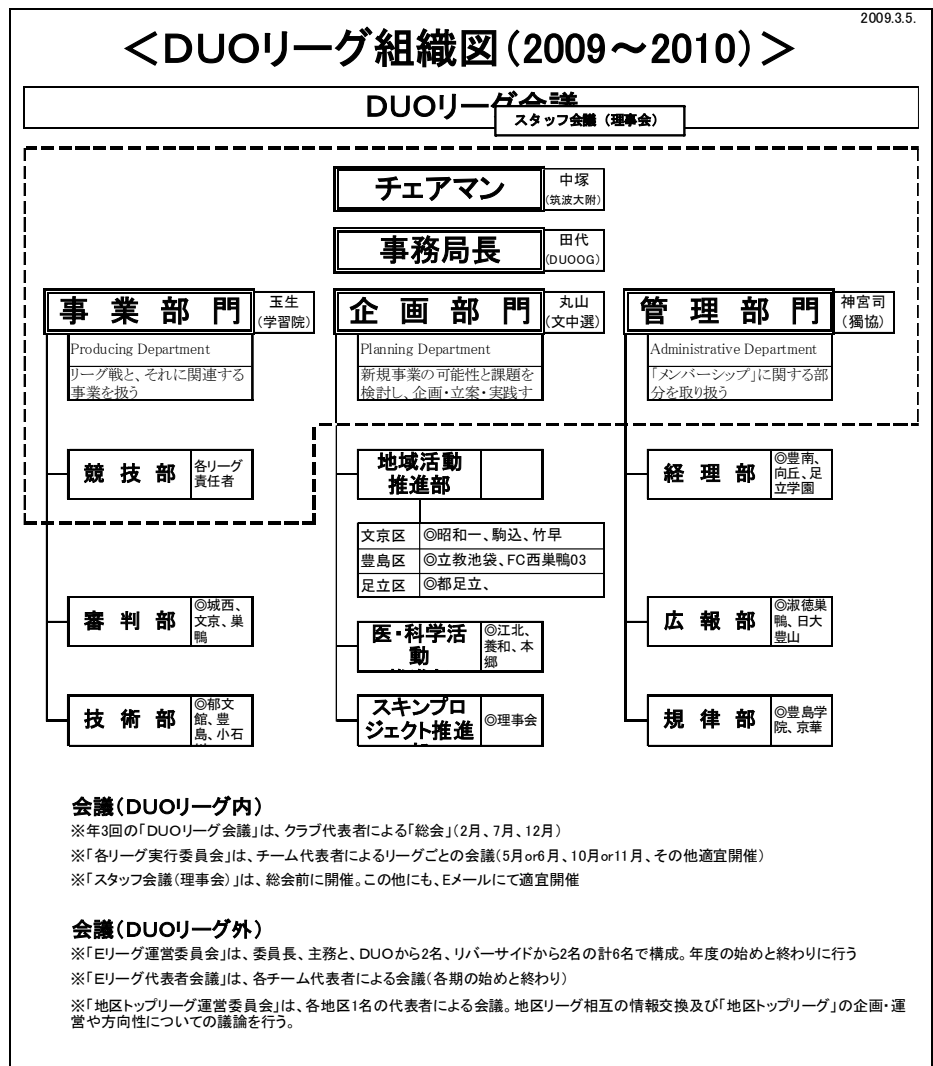
駒込：両方はキツイ（笑）

中塚：では日大豊山と駒込を入れ替え、文京区担当を「◎昭和一、駒込、竹早」、広報部を「◎淑徳巣鴨、日大豊山」とします。

梶山：審判部の大きな行事として審判講習会がありますが、「◎城西、文京、巣鴨」だといずれもグラウンドを持っていないので、講習会の期日を決めるのが難しくなると思います。案のままいくなら、審判講習会の会場を各DUOクラブにお願いすることになります。

中塚：審判講習会の会場については、審判部以外の、グラウンドのあるクラブが提供するようにして、しっかり情報交換していきましょう。

では、2009～2010はこれ（上図参照）でいきます。



2. 「地区トップリーグ」誕生とEリーグ、DUOリーグの今後（資料参照）

玉生：2008年度から地区トップリーグが始まりましたが、Tリーグとつなげる方向で動いています。

これまで高体連加盟校は、年3回の公式戦で都ベスト16に入ればTリーグへの昇格権を有するという形でやっていましたが、2009年度末には最低でも1チーム、地区トップリーグからTリーグに上げられるようになります。2011年には、すべて地区トップリーグから昇格していく形になります。また、Tリーグからの降格チームを地区トップリーグが受け入れます。

将来的にTリーグへの昇格を目指すのなら、DUOリーグに入っていないと上がる道がなくなります。このアナウンスを、リーグ未加盟の高体連加盟校にしようと思います。

地区トップリーグは1シーズン制、リーグ期間は8月いっぱいまでで、ときには9~10月も使っていますが、これを今後どうしていくのか。Bチームの扱いをどうするかなど、懸案事項は残っていますが、おおむねこのような方向で動いています。

JFAからの補助金がなくなったので、各チームの参加費が、2008年度は30,000円だったのが、2009年度は45,000円となっています。これだけ払えるクラブ力がないと、地区トップリーグへは行けないし、Tリーグへも上がっていけないということです。

岩野：Tリーグは、T1とT2の参加費が15万円プラス広告費1万円（各クラブでとってくる）の計16万円、T3でも7万5千円です。

中塚：これぐらいお金がかかるということを入れておいてください。

シーズンの話が出てきましたが、リーグ戦はシーズンを明確にする営みです。DUOリーグでも何度も言っていますが、シーズンの区切りをもっとシビアに考える必要があります。年内で終わることが前提です。1~3月はオフシーズン~プレシーズン。後期リーグは8チーム編成でいきましょう。

3. 「DUOリーグのトロフィーがない！」プロジェクト

最後に改めて。

4. 東京リゾート&スポーツ専門学校との連携（寺澤）

1) フットサル大会の件

2~3月に実施すべく準備を進めると前回の会議で宣言しましたが、施設確保が難しく、今回できなくなりました。すみません。時期をずらして、DUOリーガー対象のフットサル大会を改めて企画したいと思います。

2) トレーニング施設利用に関して

リゾスポのトレーニング施設をDUOクラブが利用できる方策についてMLでご案内させていただいたところ、さっそく京華高校の選手が利用してくれました。トレーニングマシンのマニュアルをつくって、今後はより利用しやすいように考えていきます。

小金丸：高校生は、最新の機械を見ただけで感動します。トレーニング環境を変えるという点でも良い効果があります。

3) トレーナー実習について

リゾスポの実習希望者自体、少なくなっている状況があり、本年度はDUOリーグにトレーナー実習生を派遣できなくなり、申し訳ありません。実習生を確保して新たな実習の在り方を海老原と検討し、再度お願いにあがります。

II. 2007年度後期（第24回）DUOリーグ・その後（報告・審議）

<表彰関係> 確認。一部審議。

1部優勝チーム… 都立江北高校 A

※1部MVP … 竹内祐貴（都江北）

1部得点王 … 竹内祐貴（都江北）

2部優勝チーム… DU：都竹早高校、UO：郁文館高校

- ※2部MVP …中田克彦（郁文館）
2部得点王 … DUリーグ：斉藤駿平（昭和一）7点
 UOリーグ：松岡雄介（郁文館）9点
優秀審判賞 … 佐藤允一（本郷2年）、福岳門（都江北2年）
特別賞 … なし

※が新たに決まったところ。

◆2部MVPコメント（郁文館：中田）

チームが頑張ったので、このような成績を残すことが出来ました。これからも、賞をもらえるようにしたいです。

Ⅲ. 各部門より－08年度報告・09年度審議

1. 事業部門（玉生）

- ◆4月1日から前期リーグ開始（その前にできるところは始めてもよい）。
- ◆Eリーグ参入戦：7月18日（土）18：00 於葛飾商
→1部リーグ最終戦：7月16日（木）…試合間隔を48時間あけるため
- ◆2部リーグチャンピオンシップ：7月19日（土）
→2部リーグ最終戦：7月17日（金）…試合間隔を48時間あけるため
- ◆DUO会議：7月19日（日）17：00（予定）。16：00よりDUOリーグ・アウォーズ（予定）

1) 競技部（各リーグ責任者）

◆リーグ編成

1部昇格予定であった竹早高校の参加見送りにより、1部9チーム、2部15チームとなっている。原案は、「竹早高校の補充なしでこのままいく」というもの。

小金丸：上位チームが昇格しないときには次点チームが繰り上がりになるのが普通ではないか。

玉生：その話も出ました。そうなってもかまいません。

中塚：今回は事前の意思確認が間に合わなかったのですがこのような原案になっていますが、小金丸さんの言うように、上位が辞退したら次点のチームに昇格権が移るのが本来のあり方だと思います。

玉生：竹早高校と同じリーグで2位だった駒込高校の意思をお聞きしたいのですが。

宮坂：可能なら、1部でやりたいです。

玉生：では駒込が1部に昇格。これにともない1部は10チーム、2部が14チームなので7チームずつの2ブロックになります。2部のブロック割については後日メーリングリストで流します。

◆リーグ日程編成会議

中塚：1部リーグの日程編成会議を、可能であれば今日できないかと投げかけたが、どのクラブからも反応がなかったので別の日に設定しようと思います。

小金丸ほか：今日やるつもりで来ました。江口先生もあとから来ます。

中塚：（1部リーグ参加チーム代表の合意を得たうえで）それでは本日、DUO会議終了後に1部リーグ日程編成会議を開きましょう。2部リーグについてはいかがでしょうか。

（提案がなく、しばらく膠着したが）では次のようお願いします。

2部リーグ日程会議（DU・UO合同） 3月2日 18:00～ 都向丘高校

2) 審判部（◎文京・小石川）（梶山）

3月15日（日）審判講習会です。JFAのキックオフサイトから申し込んでください。申し込み締め切りは3月5日です。

ルールブックを2～3冊、余分を買っていいでしょうか（1冊2,000円）→OK

3) 技術部 (◎豊島・郁文館) (井上)

本日 (2月22日) 開催した交流戦は、40名以上集まりました。ご協力ありがとうございます。
次回は審判講習会の日 (3月15日) に行います。詳細については改めてご連絡します。

2. 管理部門 (神宮寺)

1) 経理部 (阿波)

全てのクラブの入金を確認できました。ありがとうございます。

払い戻し、決算書は仮ですので“*”の部分に変更となります (ここには掲載せず)。

新年度予算として、通常のものに加え、HPのリニューアル分として約20万円、「スキンプロジェクト」に約20万円を計上します。

※会議後、再度過去のデータを含めて確認したところ、2007年度決算に大きな誤りがあったことが判明。2008年度決算と合わせて、次のプログラムに掲載することとした (チェアマン報告)。

2) 広報部 (◎淑徳巣鴨・豊島学院)

◆プログラムについて (藤沢)

- ・書式の統一を図るべく、リバーサイドリーグのものを参考に、入力フォーマットを改定した。メーリングリストで送信しているのご確認いただきたい。
- ・プログラム原稿締め切りは3月10日とする。

◆オフィシャルサイトについて (中塚)

更新がうまくいっておらず、オフィシャルサイトとして機能していない。つくりが難しすぎて対応できない部分があるようである。

夏ごろを目処に、全面的にリニューアルしたい。についてはチェアマンにご一任いただき、然るべき方と相談しつつ、準備を進めていきたい。→了解

3) 規律部 (◎京華・足立学園・城西)

◆退場者が出た場合 (小金丸)

2008年度は、退場者が出たらすぐ、規律委員長の小金丸に携帯電話または携帯メールを用いて連絡することになっており、問題なく進んでいた。次年度も同様、退場者が出たら即日、連絡いただきたい。ただし連絡先が豊島学院の早川氏に変更になるので間違えないように。

3. 企画部門 (丸山)

1) 地域活動推進部

◆文京区 (◎昭和一・日大豊山)

永井：準備できていない。ネタがなかなかない。

◆豊島区 (◎立教池袋・本郷)

永田：プログラム原稿に地域のニュースを入れたりすることを考えている。これを継続する。

◆足立区 (◎都足立・足立工)

安藤：準備できていない。ネタがなかなかないです。

丸山：「おいしいラーメン屋」とか…。何でもいいと思うので、アイデアを出してほしい。

中塚：難しく考えることはない。面白そうだったことを取り上げればよい。“遊び心”の問題。

2) 医・科学活動推進部 (玉山)

前期はテーピング講習会を実施できた。後期はリゾスポのトレーニング施設利用が目玉か。

4. 「トロフィーがない！」プロジェクトの経過と今後（中塚・佐藤）

会議前に行われた「DUO リーグ・アウォーズ」でも紹介したが、DUO リーグのあゆみと現在の課題、その中で進めた「トロフィーがない！」プロジェクトの意義と今後の方向性について全員で共有したいので、少し時間をとってプレゼンしたい（詳細は略。ポイントは次のとおり）。

1) 「トロフィーがない！」プロジェクトは、履けない靴を、①みがき、②解体し、③貼り合わせてトロフィーをつくるというものだった。

2) 残されたソール部分を使った「サンダル」ができるなど、副産物がある。これらを総称して「スキンプロジェクト」と名づけた。

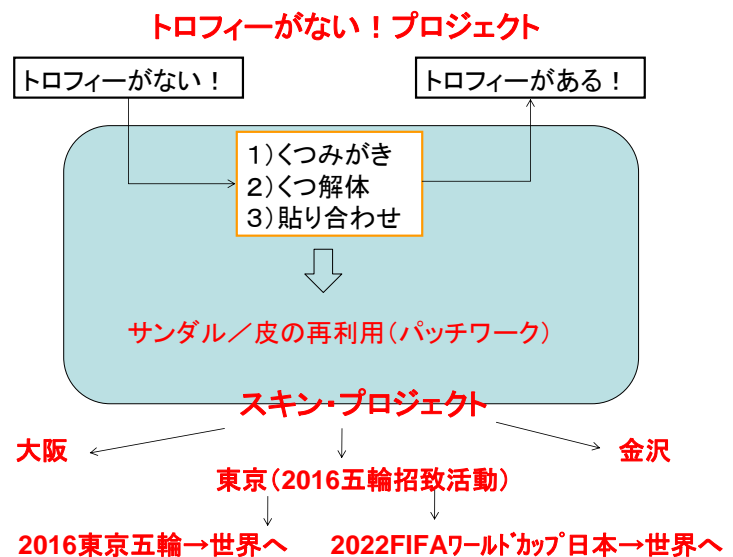
3) サンダルは、職人が手作りでつくるので1足16,000円になるが、すでに3足売れた。1足売れるごとDUO リーグに1割入金してもらっており、事業収入となる。

4) スキンプロジェクトは、金沢や大阪にも広がっている。東京オリンピック招致活動の一環としてのアートプログラムとしても採用された。DUO リーグで始まったプロジェクトが世界につながっていく！

5) サンダル作りを、高校の文化祭などで展開できないか。興味を持ってくれるクラブと、よりディープにこのプロジェクトを進めていきたい（佐藤氏からの提案）。

6) 靴磨きは全てのサッカープレイヤーに理解してほしいことなので、靴みがき講習会は、引き続き、全クラブ参加で行いたい。カレンダーも作成する。

■ということで、スキンプロジェクトに積極的に取り組みたいクラブは申し出てください。また、「履けなくなったサッカーシューズ」の回収も引き続き行う。改めて連絡を取りながら進めていく。



IV. 高校生オブザーバーより

中山（筑波）：今期は降格してしまったが、上を目指し、レベルの高い中でプレーしたいです。

八田（筑波）：いろいろなことが知れて良かった。モチベーションが上がる。

白松（筑波）：リーグ運営のことがわかって良かった。新シーズンは精一杯やりたい。

大阿久（城西）：DUO リーグのことがわかって良かった。上のリーグに上がるために頑張ります。

田島（城西）：良い経験になった。これからも頑張りたいです。

松岡（郁文館）：会議に参加できて良かったです。もっと考えてプレーしていきたいです。

中田（郁文館）：将来につなげていきたいです。

小口（郁文館）：サッカーでも頑張りたいです。

藤沢（淑徳巣鴨）：いろいろ知れて良かった。今年は1部にいけるようにサポートしていきたいです。

竹内（都豊島）：「トロフィーがない」のプロジェクトが非常に面白いと思った。

横田（都豊島）：E リーグに参加できるように頑張りたいです。

議事録作成：田村紗雪、藤岡友彦

確認・修正：中塚義実